

岩木川ダム 統管だより

030号
2019年
10月30日



▲フルマラソン・ハーフマラソンのコースとなった道の駅『津軽白神』前はランナーと観客の声で大いに賑わっていました

令和元年10月6日（日）、弘前市誕生130周年記念事業『第17回 弘前・白神アップルマラソン』が弘前市と西目屋村を会場に開催されました。昨年の大会は台風の接近により中止となったため、参加者達は1年越しの思いを達成すべく日々の練習の成果を遺憾なく発揮していました。

『りんごの里から世界遺産・白神山地ブナの里へ。』のキャッチコピーがよく似合うさわやかな秋の澄んだ空気の中、全国各地から集まった約6,000名のランナーたちは9時の合図を皮切りに次々とゴールを目指してスタートをきっていきました。

今回からハーフマラソンコースのゴール地点となった西目屋村役場前では、完走者に声援を送ろうと多くの観客で賑わっていました。

フルマラソン男子39歳以下の部に参加した弘前市在住の横山さんは、「最初は走りきれるか不安でしたが、サポートしてくれている皆さんと仲間のおかげで走りることができました。今日は自分を褒めたいと思います。来年も出場して、次は4時間半を切りたいです。」と話していました。

ハーフマラソンゴール地点の西目屋村役場前



祝 西目屋村村制施行130周年



▲記念式典は関西目屋村長との万歳三唱でしめくられました



▲映像で振り返る130年のあゆみ



▲村の功労者の方を表彰

津軽ダムの立地村である西目屋村が、このほど村制施行130周年を迎えました。これを記念して、9月16日(月)西目屋村中央公民館で『西目屋村村制施行130周年記念式典』が開催されました。村民や村にゆかりのある有識者など、約300人が参加してこの記念すべき節目の年を祝いました。

式典では、これまでの村の歩みを映像で紹介するとともにこれまで村の発展に貢献された方々を表彰しました。記念式典後の祝賀会では様々な催しが行われ、出席した村民や来賓の方々を楽しませていました。

中でも一番の盛り上がりを見せたのは、「好きです西目屋ふるさと親善大使」で歌手の吉幾三さんと会場が一つになり『白神が故郷』を記念合唱した場面です。生で聞く吉さんの歌声は体の隅々まで響き渡るようで、とても感動しました。

最後は関西目屋村長が音頭をとり、参加者全員で万歳三唱し会場全体がお祝いムードに包まれ、村の更なる発展を予感させるようでした。



白神山地マスコットキャラクター
フナッキー



▲黒石八郎さんとかずみさんの民謡手踊りショー



▲吉幾三さんと大合唱

今年も『幾三米』が獲れました！

ラップ調の新曲『TSUGARU』も好評の歌手吉幾三さんが、9月16日（月）に自身が“好きです西目屋ふるさと親善大使”を務める西目屋村で青森米『まっしぐら』の稲刈りを行いました。収穫されたお米は『幾三米（いくぞうまい）』と呼ばれ、同村のふるさと納税返礼品や道の駅『津軽白神』で販売され、毎年人気商品となっています。

岩木川水系は、今年五月以降少雨傾向でかんがい用水への影響も懸念されていましたが、『幾三米』は無事600kgを収穫することができました。晴れ渡る秋空の下、民謡歌手の黒石八郎さんやかすみさんも応援に駆けつけ賑やかな稲刈りとなりました。



▲今年の『幾三米』の出来も良さそうです！



岩木川水系のお水で育ったお米はとってもおいしいよ！



▲黒石八郎さん達も稲刈りをお手伝い！

第38回『暗門祭』に行ってきました！

令和元年9月15日（日）、西目屋村のアクアグリーンビレッジANMONで、『第38回 暗門祭』が開催されました。この祭りは西目屋村最大の祭りとしており、会場は多くの家族連れや観光客などで賑わっていました。

会場では、様々な趣向を凝らしたプログラムが行われました。ダイナミックで躍動感あふれる『よさこいソーラン』や『男女丸太切りタイムトライアル』、軽快なトークと歌で会場を1つに巻き込んだ『麻生しおりミニライブ』などで大歓声に沸き、時間の経過があっという間でした。

本格的な紅葉シーズンを前に、世界自然遺産“白神山地”には人々の賑わいが“こだま”のように鳴り響いていました。



▲神事式の様子です



▲子供達に大人気のスラックライン



▲よさこいソーランにかわいい飛び入り！



▲丸太切り競技では声援が飛び交いました



▲麻生しおりミニライブは大盛況

非常時に備えて ～総合防災訓練を実施～

令和元年9月27日（金）、岩木川ダム統管理事務所
で総合防災訓練を実施しました。この訓練は、『浅瀬石川
ダム』『津軽ダム』の2つのダムの災害時における被災状
況の迅速かつ的確な情報収集や情報の共有などの初動対応
訓練を行い、職員の防災能力の向上を図ることを目的とし
て実施しました。

訓練は東日本大震災の経験を踏まえ、青森県内陸部を震
源とする震度6弱の揺れを観測したとの想定で行いました。
地震の観測からまもなく災害対策支部を設置、職員及び家
族の安否確認・防災広報・管理施設点検・応急復旧・防災
エキスパート出動要請など実践さながらの緊張感のもとに
訓練を行いました。



▲支部長への巡視結果報告は実践さながら

▲時系列に状況をホワイトボードに書きます



令和元年度ダム見学案内の実施状況報告

浅瀬石川ダム ●4月～9月までの
見学案内者数
71団体 / 1,744名



弘前市立大成小学校の皆様 (9/21)

【見学の見どころ】
ダム堤体内にあるエレ
ベーターの高低差は県
内一！ダム堤体内には
ミニ水族館もあるよ！



浅瀬石川ダム
イメージキャラクター
アッチャンとパパ

津軽ダム ●4月～9月までの
見学案内者数
64団体 / 1,488名



ネパール灌漑研修の皆様 (8/21)

【見学の見どころ】
スリル満点!?ダム湖に
突き出す取水塔ぐるり
一周出来るよ！
日本一の大きさを誇る
コンジットゲート
も必見!!



津軽ダムイメージ
キャラクター
ベッカー君



●岩木川ダム統管理事務所ホームページ <http://www.thr.mlit.go.jp/iwakito/>

編集後記

初めての編集後記です。7月に岩木川ダム統管理事務所
で働き始め、早いもので三ヶ月超が経過しました。上司
や環境に恵まれ、のびのびと楽しく広報活動をさせていただ
いております。まさか編集後記を書く日がくるとは！と
いうことで、精一杯書いてみます。

皆様、『〇〇が多いと雪が多い』など聞いたことはあり
ますか？私は虫が大の苦手なのですが、管理庁舎内外では
10月頃にカメムシが多く見られます。今年は例年より多い
ようで、このカメムシが多いと『雪が沢山降る』と言われ
ているそうです。彼らが少なくなった頃、カメムシ占いが
当たるのかどうか今から少しだけ楽しみです。（対馬）

編集・発行

国土交通省 東北地方整備局
岩木川ダム統管理事務所

〒036-1422
青森県中津軽郡西目屋村大字居森平
字寒沢138-2
TEL 0172-85-3035
FAX 0172-85-3061

岩木川ダム統管理事務所
ホームページアドレス
<http://www.thr.mlit.go.jp/iwakito/>

